

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	住之江区
学 校 名	大阪市立加賀屋小学校
学校長名	高田 博史

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・加賀屋小学校では、第6学年38名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

学力の面では、本校の児童は国語と算数の両方で大阪市および全国平均に近い成績を示している。具体的には、国語の平均正答率は学校が61%、大阪市が66%、全国が67.7%となっており、本校の成績は大阪市および全国の平均よりやや低めである。国語の「話すこと・聞くこと」や「読むこと」においては、本校の児童は大阪市や全国と比較してやや低い正答率を示している。算数では、本校の平均正答率が62%で、大阪市62.3%および全国63.4%に比較的近い結果を示している。ただし、分野別に見ると、「数と計算」や「図形」において本校の児童は大阪市や全国平均と同等の成果を上げている一方で、「データの活用」や「変化と関係」の分野で課題が見られる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕平均正答率は、大阪市や全国平均と比較してやや低い結果となっているが、特に「書くこと」の領域で全国平均に近い成果を上げています。児童の国語力に関しては、情報整理や話の要点を捉える能力が一定水準に達していることがわかる。学力向上支援チーム事業を活用し校内授業研究を通して授業改善に取り組んだことがその成果につながったと考えられる。一方で、「話すこと・聞くこと」や「読むこと」に関する領域では、全国平均を下回っており、特に複雑な文章の理解や、意見の伝達能力の向上が求められる。また、児童の国語に対する学習意欲も大阪市や全国と比べて低い傾向があり、国語の魅力を感じられる授業内容の工夫が必要である。

〔算数〕平均正答率は大阪市や全国平均にほぼ一致しており、特に「数と計算」や「図形」の分野で高い成果を見せている。児童の基本的な計算力や図形の理解がしっかりしていることが確認されている。少人数授業やチームティーチングにより、きめ細やかな指導を継続してきた成果と考えられる。しかし、「データの活用」や「変化と関係」の分野では全国平均を若干下回っており、統計的なデータの読み取りや複雑な関係性の理解に課題がある。また、算数の学習意欲は高いものの、実社会での応用力の育成に向けた実践的な問題解決の機会を増やすことが重要である。

質問調査より

大阪市の児童は、全国平均と比較して学習に対する意欲が高い傾向が見られが、一方で国語の授業内容の理解度や算数の将来的な有用性についての認識にはばらつきがある。特に、本校の児童は「国語の勉強は好きですか」の質問に対して、大阪市や全国平均よりも低いとなっており、国語教育の魅力を高める必要がある。一方で、「算数の勉強は大切だと思いますか」という質問に対しては、本校の児童は比較的高い意識を持っていることが分かる。また、ICT機器の活用状況については、大阪市内の学校と比較しても高い使用率を示しており、特に「自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」での使用が積極的に行われている。しかし、これらの成果をさらに拡大するためには、児童の学習意欲を維持し、ICT機器の活用方法をより工夫することが必要である。

今後の取組(アクションプラン)

今後も、学力向上支援チーム事業を活用し、スクールアドバイザーの指導を仰ぎながら授業研究を通して授業改善に継続して取り組む。さらに、「個別最適な学び」や「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、ICT機器の活用をさらに推進するために、教員の活用スキルの向上に取り組む。

【 全体の概要 】

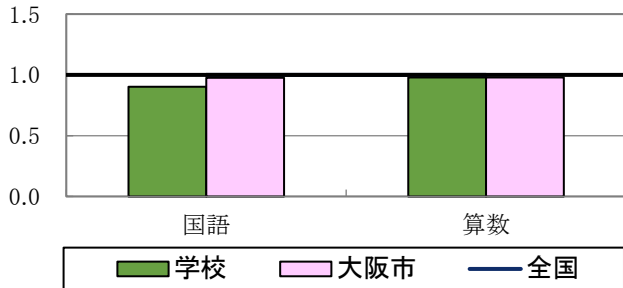
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	61	62
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

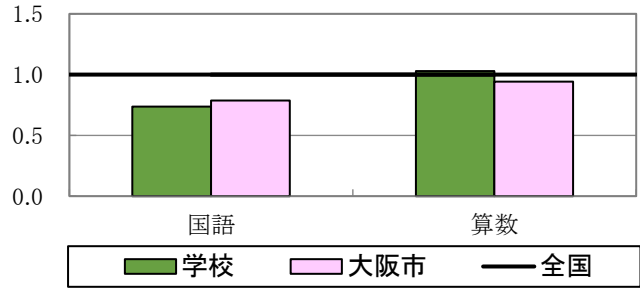
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.1	3.5
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率（対全国比）



平均無解答率（対全国比）



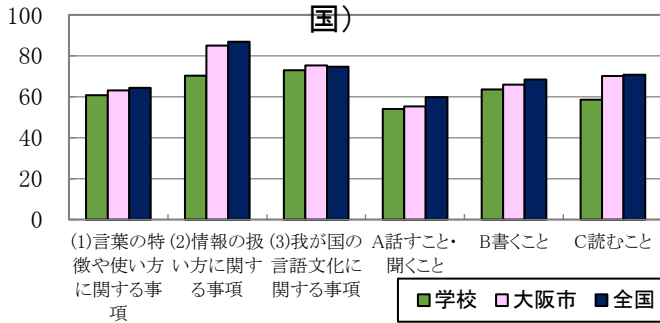
国語

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	60.8	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	70.3	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	73.0	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	54.1	55.3	59.8
B 書くこと	2	63.5	65.9	68.4
C 読むこと	3	58.6	70.1	70.7

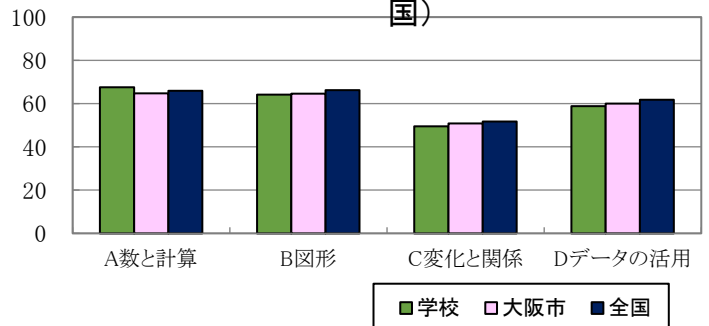
算数

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	67.6	64.8	66.0
B 図形	4	64.2	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	49.5	50.8	51.7
D データの活用	4	58.8	60.0	61.8

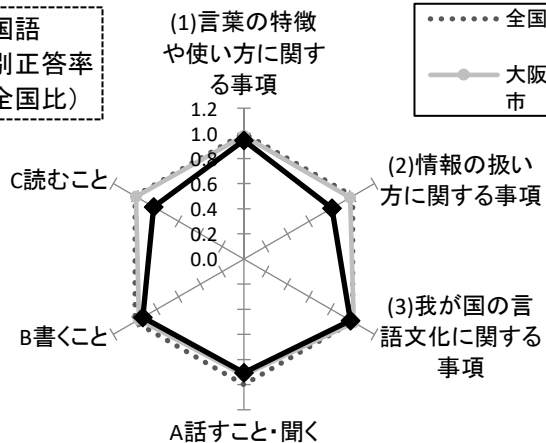
国語 内容別正答率（学校、大阪市、全国）



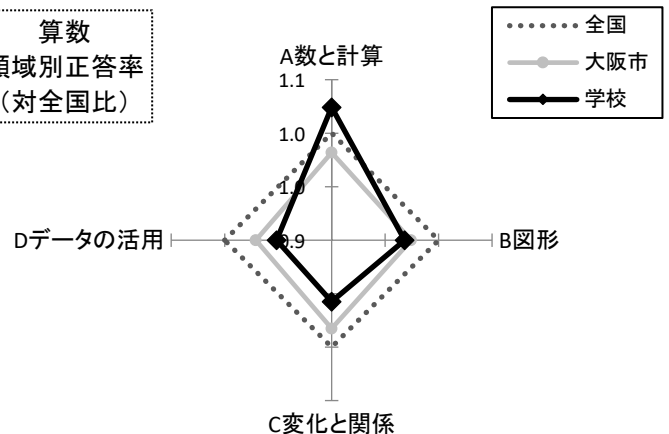
算数 領域別正答率（学校、大阪市、全国）



国語
内容別正答率
（対全国比）



算数
領域別正答率
（対全国比）



児童質問より

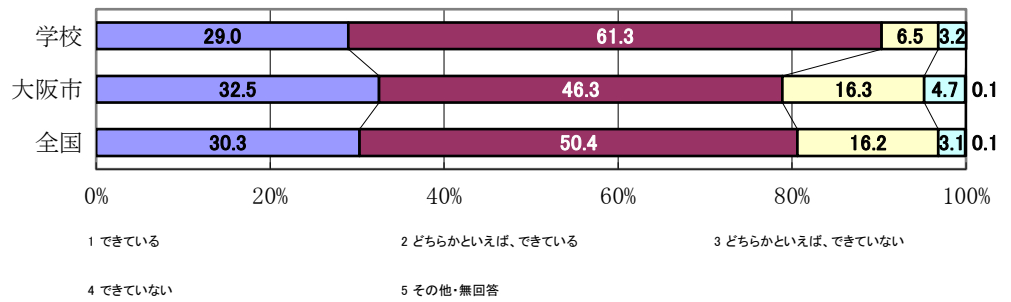
質問番号

質問事項

20

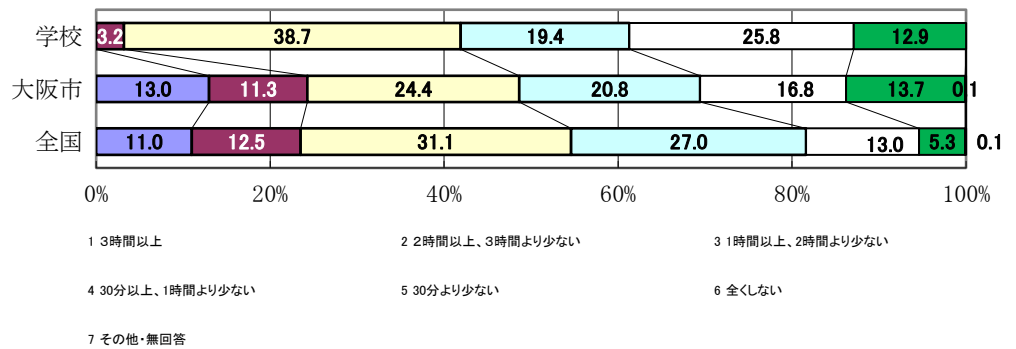
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

1 2 3 4 5 6 7 8



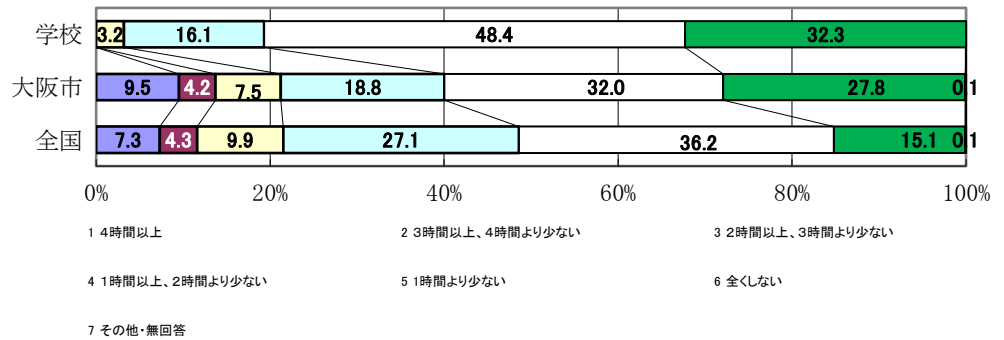
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



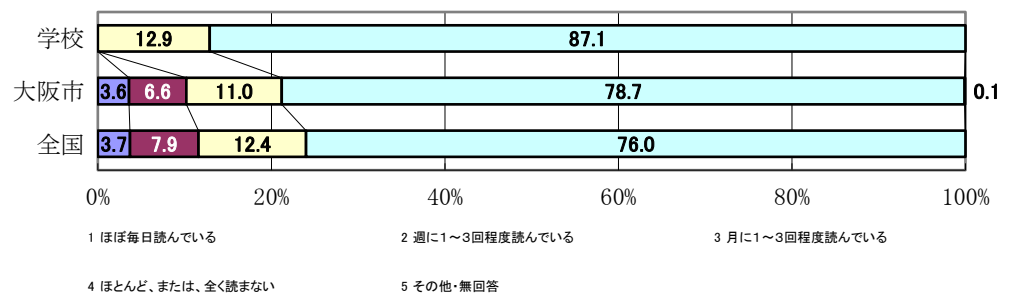
22

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



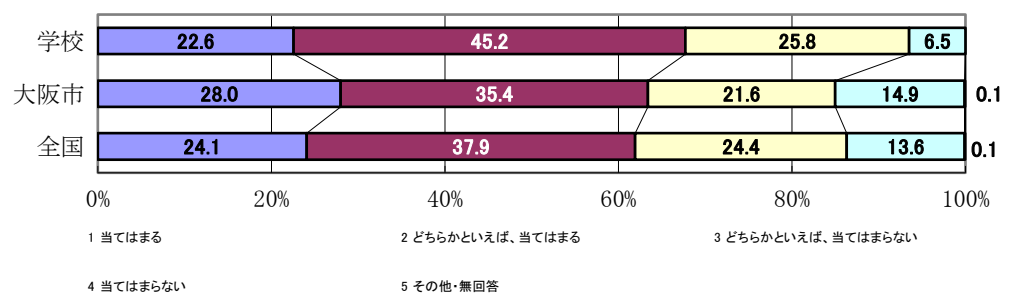
24

新聞を読んでいますか



42

国語の勉強は好きですか



児童質問より

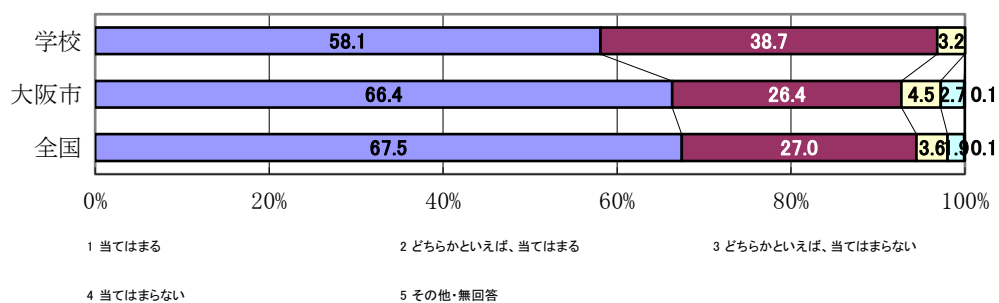
質問番号

質問事項

43

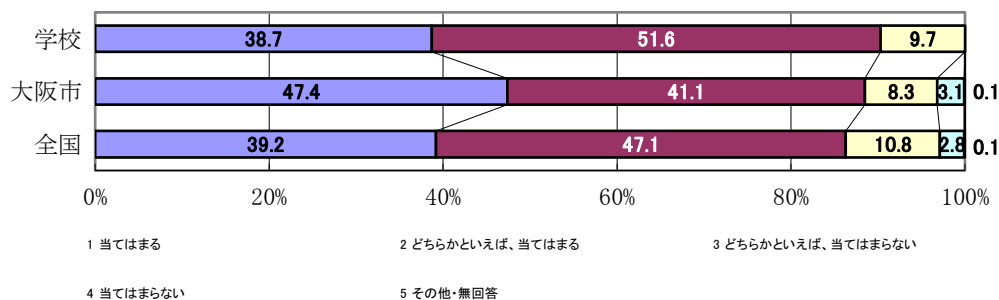
国語の勉強は大切だと思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



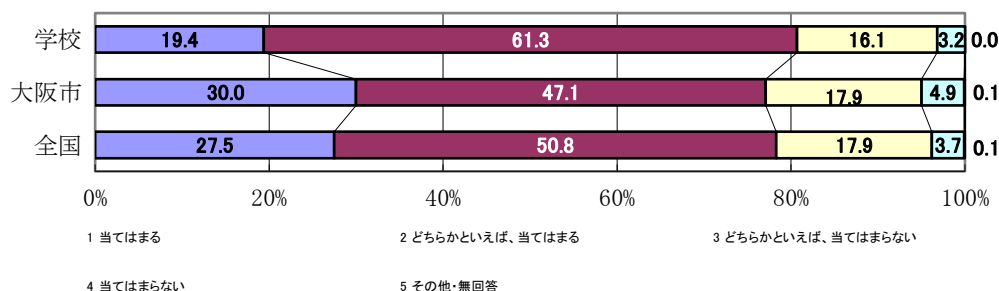
44

国語の授業の内容はよく分かりますか



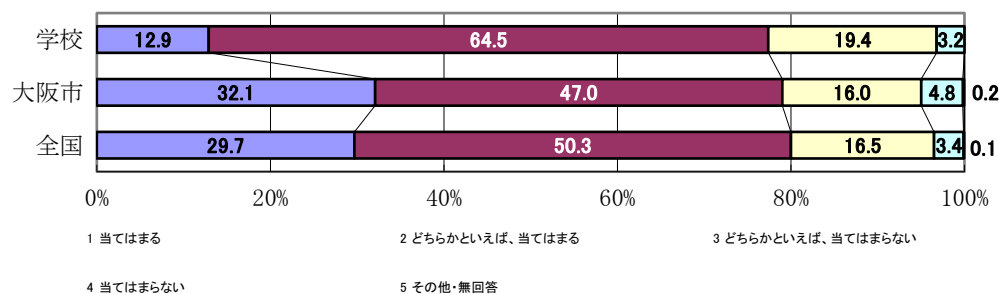
46

国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか



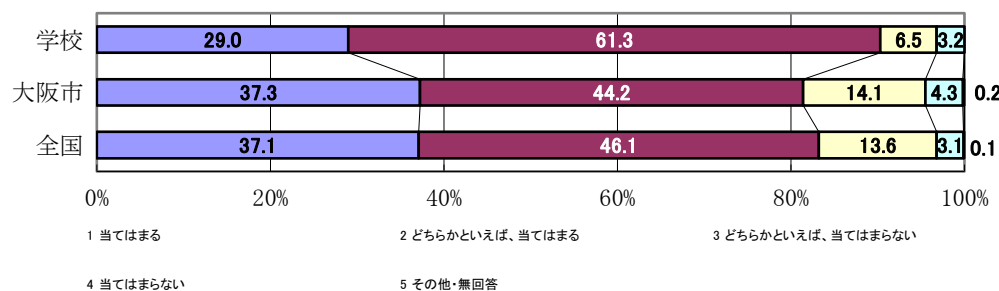
47

国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか



48

国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか



児童質問より

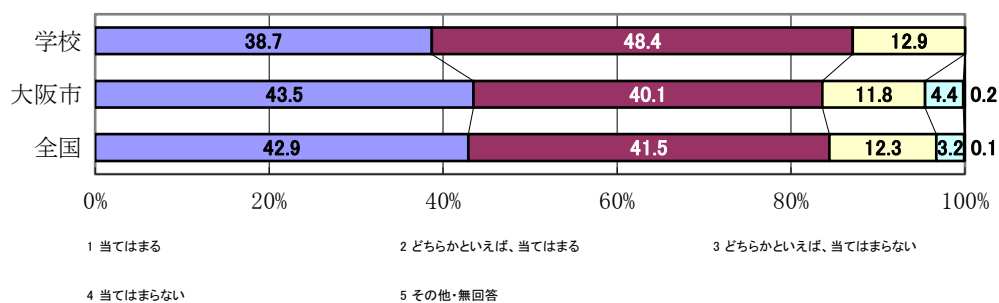
質問番号

質問事項

49

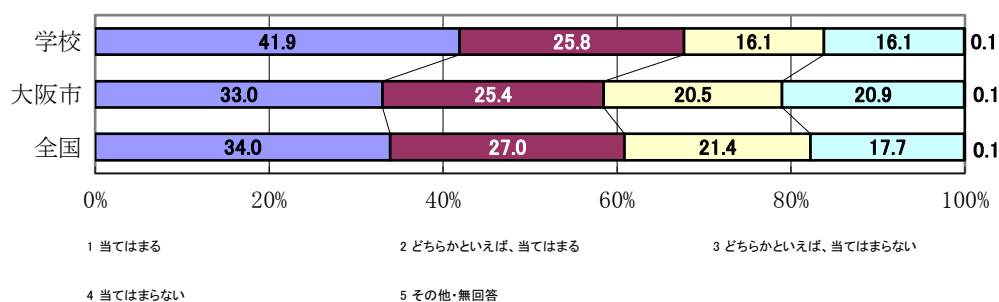
国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか

1 2 3 4 5 6 7 8



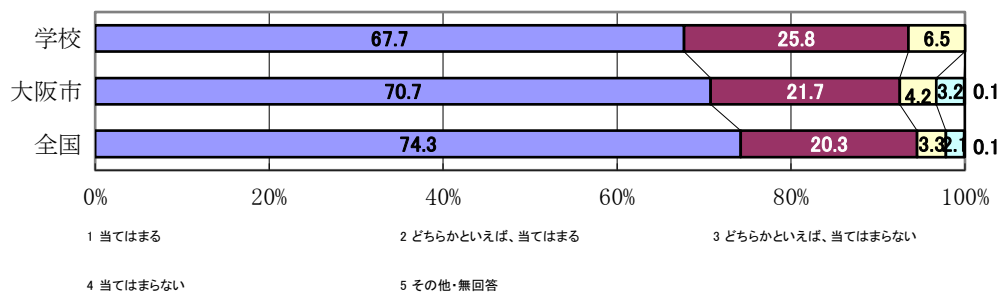
50

算数の勉強は好きですか



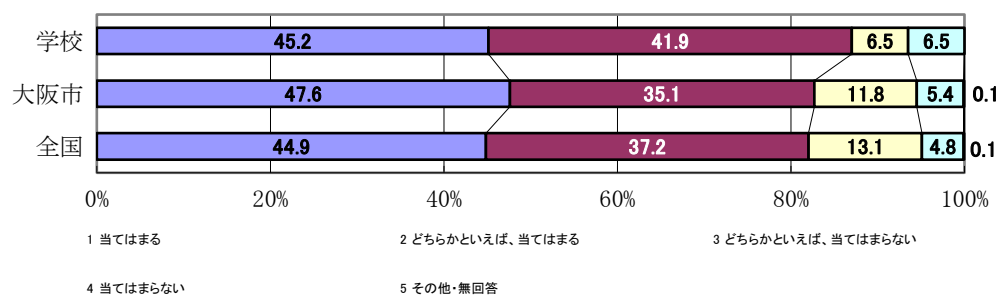
51

算数の勉強は大切だと思いますか



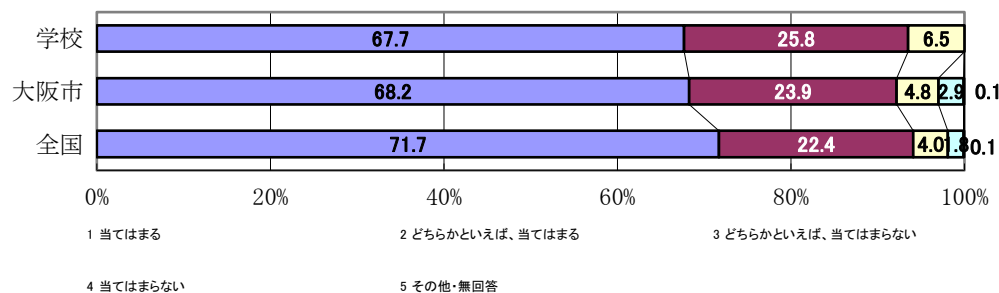
52

算数の授業の内容はよく分かりますか



53

算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

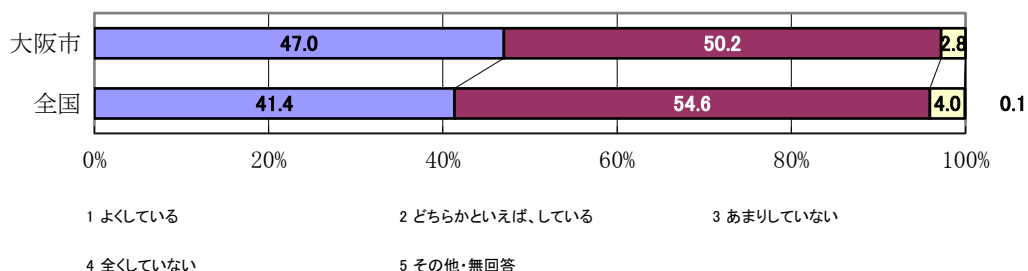
質問番号

質問事項

15

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

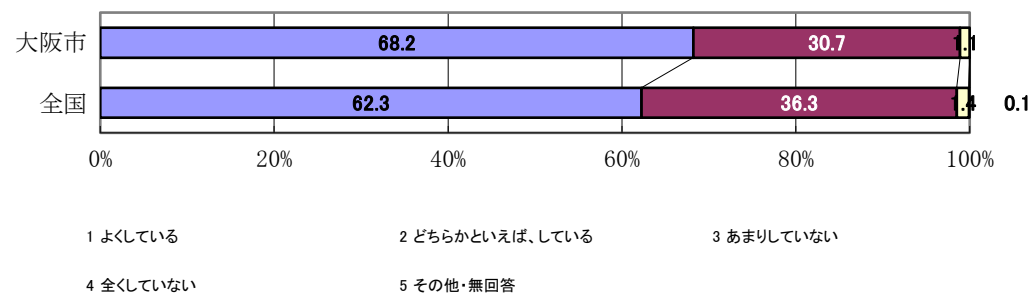
学校 「どちらかといえば、している」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

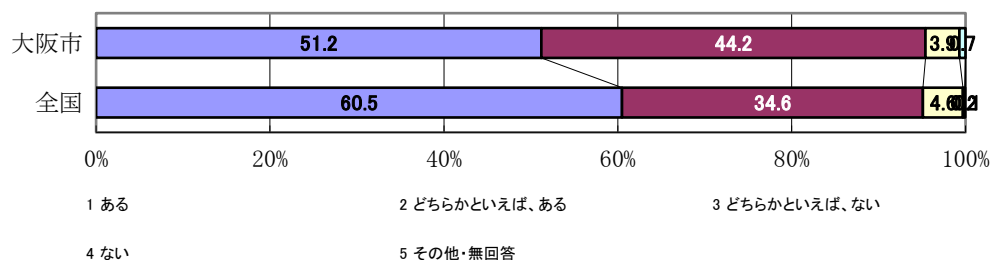
学校 「よくしている」を選択



54

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか

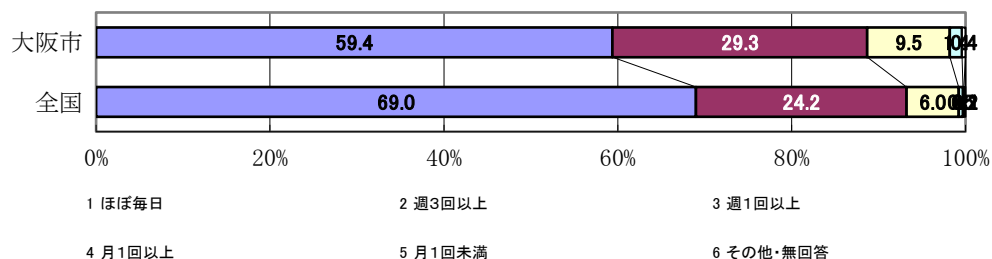
学校 「ある」を選択



56

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「週3回以上」を選択



58

調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「週1回以上」を選択

